

2016年12月期 業績予想の修正 補足説明資料

2016年7月8日

株式会社PALTEK
(証券コード:7587)

- 2016年12月期 業績予想の修正の概要
- 業績予想修正の要因分析
 - 第2四半期(累計)の連結営業利益
 - 通期の連結営業利益
- 為替変動による影響の発生要因
 - 仕入値引ドル建債権の為替変動による影響
 - 調達在庫の為替変動による影響
- 為替の影響を除いた業績推移(営業利益)
- 配当について
- 株主優待制度の導入



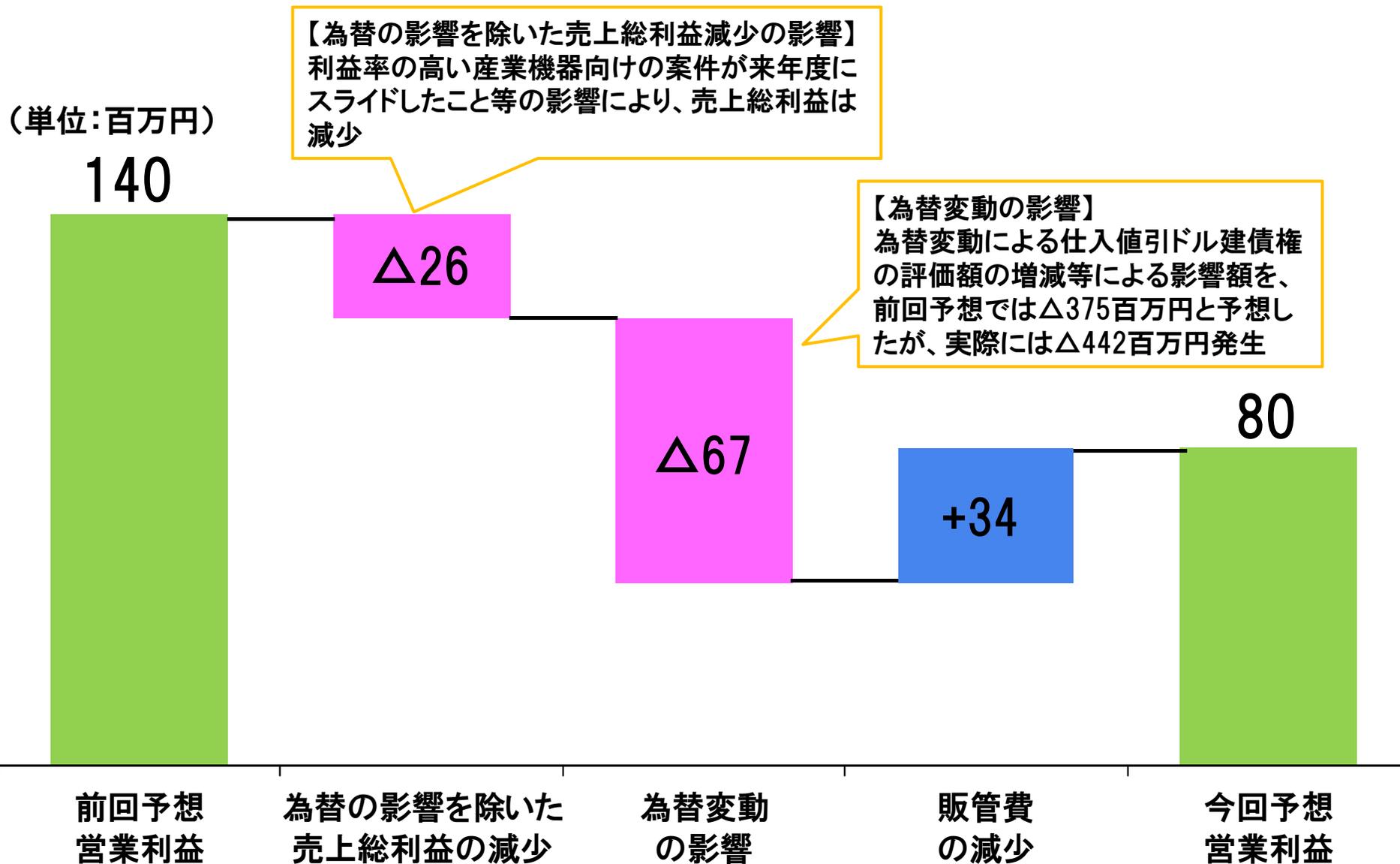
2016年12月期 業績予想の修正の概要

ドル円相場の急速な円高進行による影響により、業績を下方修正。配当予想は維持。

(百万円)	2016年12月期業績予想 修正予想(5/9)			2016年12月期業績予想 修正予想(7/8)			上期増減		通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	16,550	15,450	32,000	17,290	15,710	33,000	740	4.5%	1,000	3.1%
営業利益	140	685	825	80	240	320	△60	△42.9%	△505	△61.2%
営業利益率	0.8%	4.4%	2.6%	0.5%	1.5%	1.0%	—	—	—	—
経常利益	145	635	780	73	187	260	△72	△49.7%	△520	△66.7%
当期純利益	82	403	485	37	123	160	△45	△54.9%	△325	△67.0%
1株当たり 配当金	—	13円	13円	—	13円	13円				

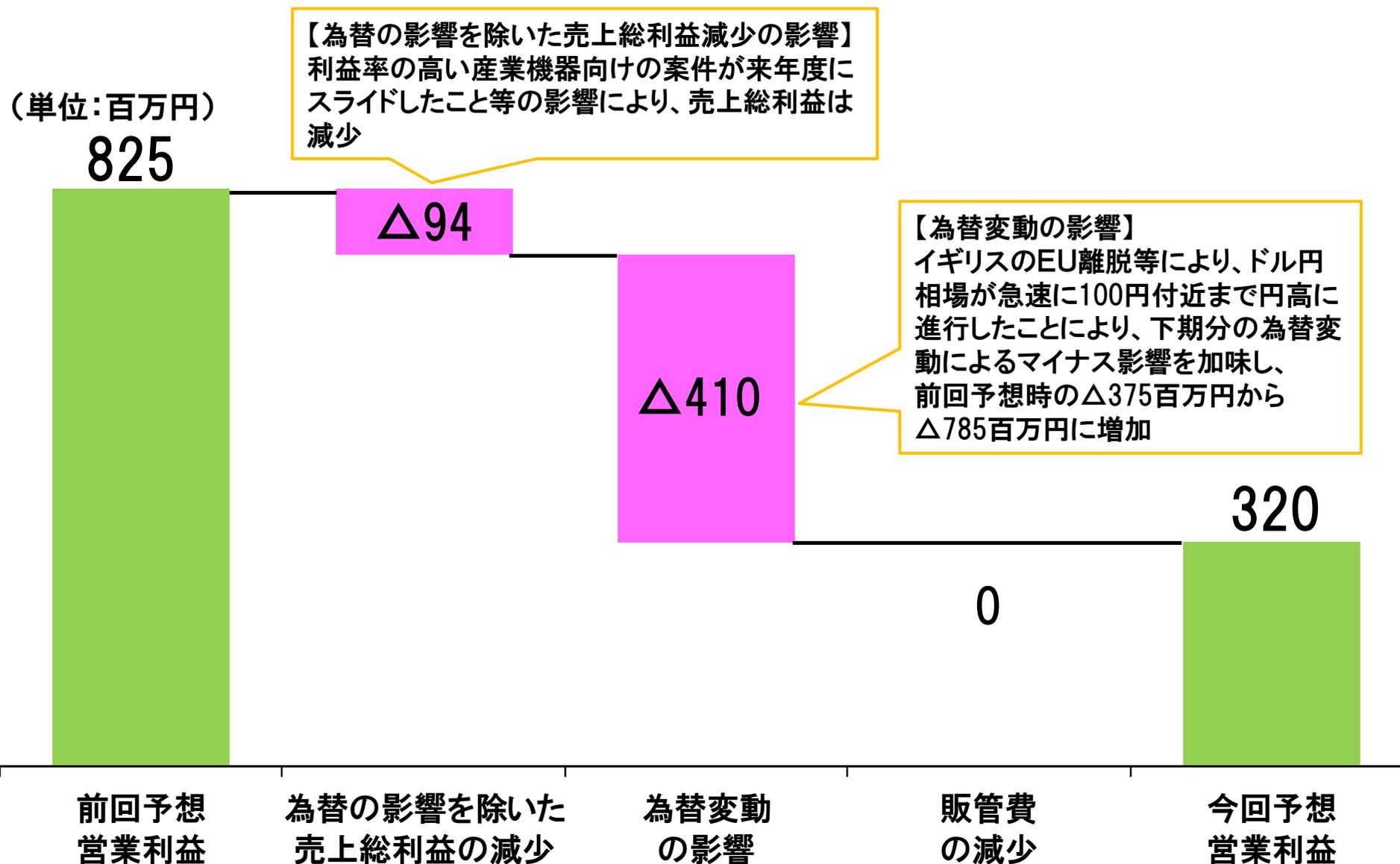


業績予想修正の要因分析 (第2四半期(累計)の連結営業利益)





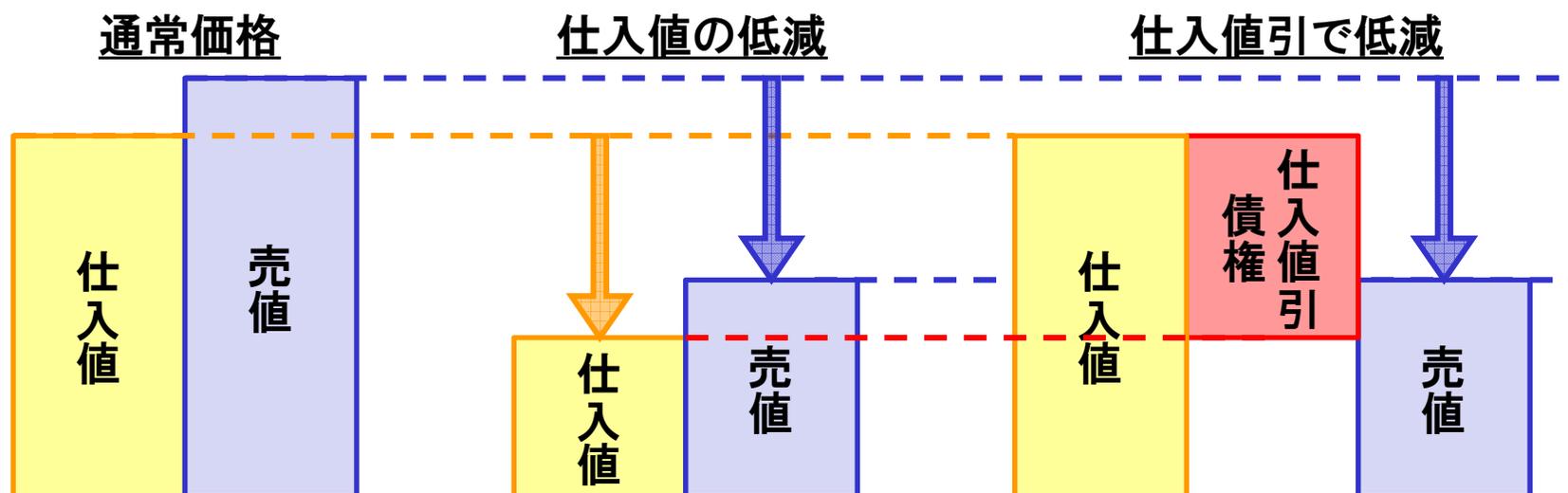
業績予想修正の要因分析(通期の連結営業利益)



為替変動による影響の発生要因①

【仕入値引ドル建債権の為替変動による影響】

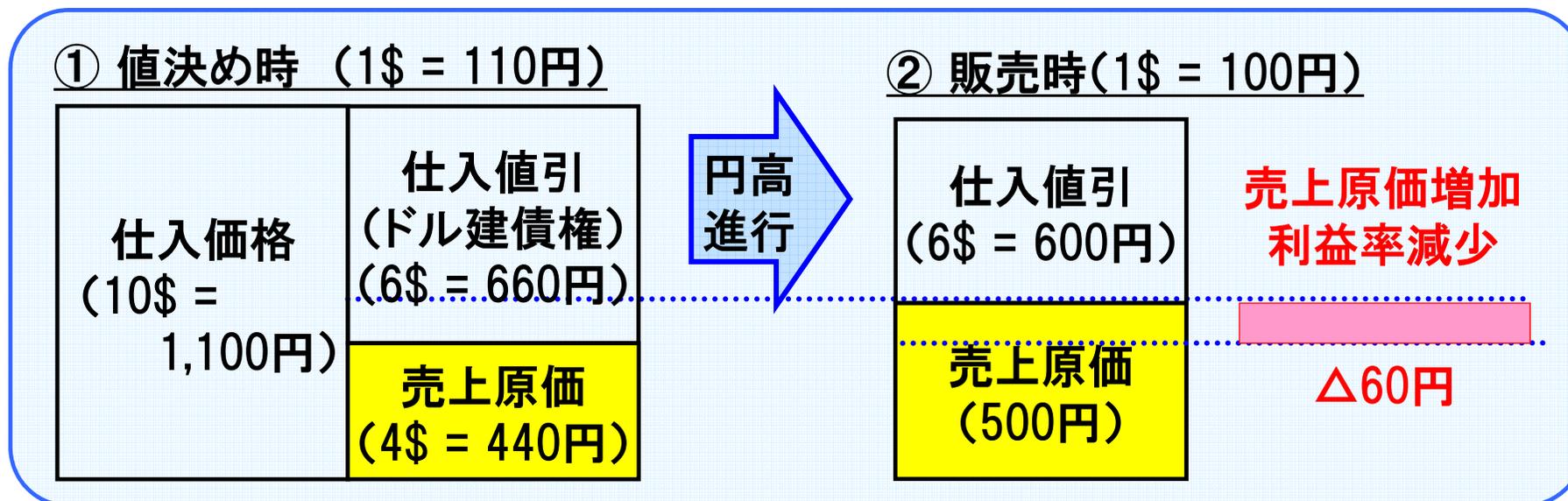
- 当社が仕入先に対して保有する『仕入値引ドル建債権』が、為替レートの変動により評価額が増減することで、業績に大きな影響を与える
- 仕入値引ドル建債権について：
 - 量産案件によっては、通常価格よりも低い価格での販売を要請されることがある
 - その場合、仕入先との間で仕入価格の低減交渉を行う
 - その実現方法は、「仕入値自体の低減」と「仕入値引債権の付与による低減」の2パターン



急速な円高進行による仕入値引債権の評価額減少

- 評価額の増減については、値決め時と販売時の為替レートの差により生じる
- そのため、急速に円高が進行すると、為替レートの差が大きく生じるため、仕入値引債権の評価額が大幅に減少
- これにより、売上原価が増加し、売上総利益が減少

例:仕入れ価格10ドルの製品を販売する際の売上原価の変化

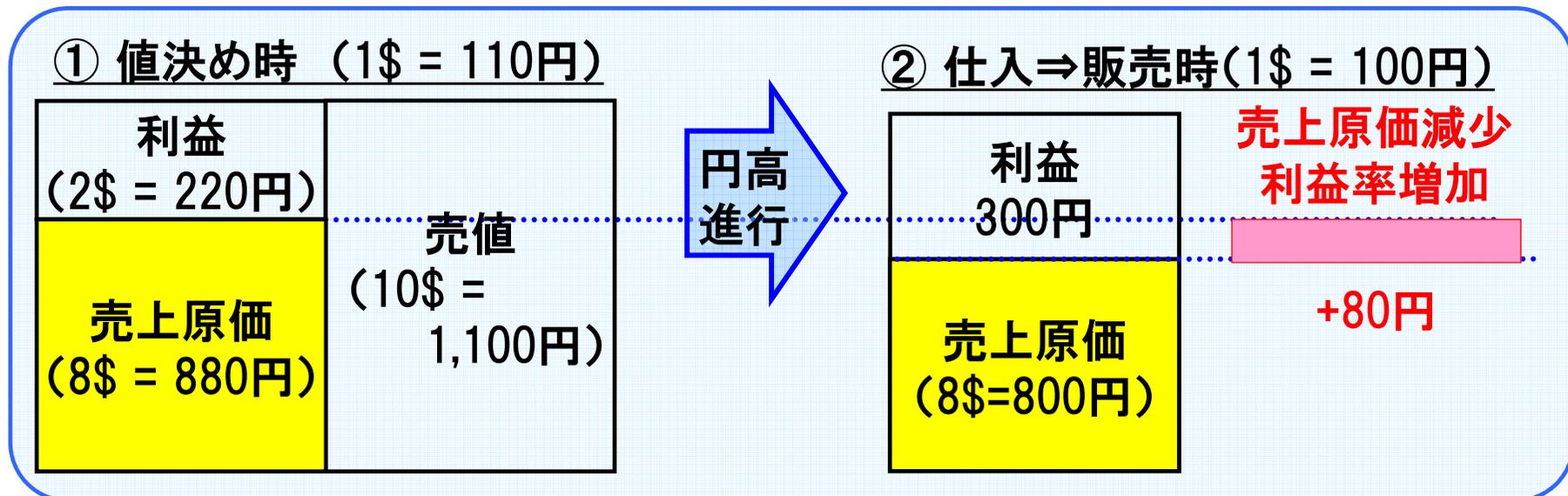


為替変動による影響の発生要因②

【調達在庫の為替変動による影響】

- 海外から仕入れたドル建の製品において、為替レートが円高に進行することにより、売上原価が減少し、売上総利益は増加

例:仕入れ価格10ドルの製品を販売する際の売上原価の変化



- 「仕入値引ドル建債権の為替変動による影響」と「調達在庫の為替変動による影響」は相殺関係
- 当社のビジネスにおいては、「仕入値引ドル建債権の為替変動による影響」のほうがビジネスボリュームが大きいいため、急速な円高進行は当社業績にマイナスの影響となる
- 為替レートが1円円高に進行すると、売上総利益に対して、月に約10百万円のマイナスの影響が生じる



為替の影響を除いた業績推移(営業利益)

- 為替レートの変動による仕入値引ドル建債権の評価額の増減等の影響を除いた場合、実力値ベースでの営業利益は増加傾向

(百万円)	2014年12月期 実績		2015年12月期 実績		2016年12月期 予想	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	23,155	100.0%	28,841	100.0%	33,000	100.0%
営業利益	1,008	4.4%	1,361	4.7%	320	1.0%
為替変動による影響	+327	1.4%	+431	1.5%	△785	△2.4%
営業利益 (為替変動による影響を排除)	681	2.9%	929	3.2%	1,105	3.3%

株主還元方針および1株当たり配当金

- 利益配分については、経営基盤の強化や将来の事業展開を考慮し、適正に配分。株主の皆様へは、配当金にて還元いたします
- 2016年12月期配当金は、実力値ベースでの業績が増加傾向にあるため、期末配当金は、1株あたり13円から変更いたしません

配当金の推移

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年 (予)
1株当たり配当金	5円	5円	8円	8円	15円(※)	13円
配当性向(連結)	118.5%	—	20.6%	16.2%	24.4%	89.0%
当期純利益(百万円)	48	△106	443	563	674	160

※ 普通配:12円、記念配:3円



株主優待制度の導入

■ 導入の目的

- 当社株式への投資魅力を高め、中長期にわたって多くの株主の皆様当社株式を継続して保有していただくため

■ 対象となる株主様

- 毎年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有している株主様

■ 株主優待の内容

- 毎年12月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、優待品(クオカード)を年1回贈呈

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
100株以上～500株未満	クオカード500円分	クオカード1,000円分
500株以上～1,000株未満	クオカード1,000円分	クオカード2,000円分
1,000株以上	クオカード2,000円分	クオカード3,000円分

■ 開始時期

- 2016年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有する株主様を対象に開始



本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合

お問い合わせ先

株式会社PALTEK IR担当 柴崎 由記

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル

TEL :045-477-2016

E-mail :ir@paltek.co.jp